

施工説明書

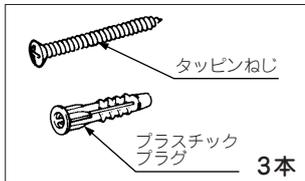
ワンタッチ式紙巻器

CF-AA22H
CF-AA23D
CF-AA23P

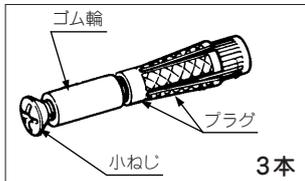
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●同梱取付部材

タッピンねじ仕様



AYボルト仕様



●取付部材は必ず同梱のものをご使用ください。

●施工方法

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領
乾式壁	タッピンねじ	・板厚は20mm以上確保してください。板厚が足りない場合は、壁裏への取付木(補強木)を設けて板厚が20mm以上となるようにしてください。	1. 紙巻器の取付穴位置を取付場所にマークします。(図1) 2. 下穴をあけます。下穴径はφ3~3.5mm(深さ35mm)です。(図1) 3. タッピンねじで紙巻器を取り付けます。(図2)
	タッピンねじとプラスチックプラグ併用	・厚みが9.5mm以上12.5mm以下の石膏ボード等のボード張りにはプラスチックプラグを用いて直接ボードに取り付けできます。	1. 紙巻器の取付穴位置を取付場所にマークします。 2. 下穴をあけます。下穴径はφ6mm(深さ35mm)です。 3. プラスチックプラグの頭部をカナヅチで軽くたたき、壁面から出ないように取り付けます。 4. タッピンねじで紙巻器を取り付けます。

※ボード張りの厚みが12.5mmを超える場合は、超えた分だけ長いタッピンねじおよびプラスチックプラグを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領
湿式壁	AY-21W(別売) AYボルト または タッピンねじとプラスチックプラグ併用	・壁仕上材(モルタル、モルタル+タイル)の厚みは20mm以下としてください。 ・20mmを超える場合は、超えた分だけ長いAYボルトを別途用意してください。 ※ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。	[AYボルトを使用する場合] AY-21W(別売) 1. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。 下穴寸法は右表の通りです。 2. プラグをボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。 3. ゴム輪の端を壁面から出ないように押さえて小ねじの頭部を強く引っ張ってから小ねじを外します。 4. 紙巻器を小ねじで取り付けます。 [タッピンねじとプラスチックプラグを併用する場合] ・上記ボード張りの施工要領を参照してください。 但し、下穴寸法はφ6×35mmにしてください。

※木ずり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ20mm以上の取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。